

平成27年度 臨床看護学ユニット研究活動状況

A. 構成メンバー

石野レイコ、井村弥生、板東正巳、北得美佐子、
築田 誠、兒嶋章仁、宇田賀津、
紅林佑介、野田部恵、阿部香織

B. 研究活動の概要

ユニット研究は、個人研究、共同研究、科研費採択による研究である。

・共同研究としては、日本看護教育学会の助成を受け、「術後患者の観察能力習熟への教育方法の検討」をテーマに、平成25年度～28年度予定で、研究活動を実施している。

・科研費採択による研究は、2テーマ採択され精力的な研究が進められている。

1 挑戦的萌芽研究「がんを患う地域住民に向けたセルフマネジメント支援モデルの実証的研究

2 研究活動スタート支援「統合失調症患者の認知機能と身体活動量の関連性の解明」

C. 研究業績

著書

北得美佐子、水雲 京、石井京子、森田達也、宮下光令：ホスピス・緩和ケア病棟の遺族ケアに関する研究，日本ホスピス・緩和ケア研究振興財団研究事業「遺族によるホスピス・緩和ケアの質の評価に関する研究3」(J-HOPE3) ,120-128, 青海社, 2016.

井村弥生，板東正己ほか編著，平澤久一監修：表情看護のすすめ 第2章 表情看護 理論編，P74-81，メディカ出版，2015.

板東正己，平澤久一，井村弥生他：表情看護のすすめ，第2章 90-99. メディカ出版 2015.11

井村弥生，編集池西静江，小山敦代他：アセスメントに使える 疾患と看護の知識 乳がん，247-256，照林社，2016.1

学術論文

森岡郁晴，宇田賀津，山本美緒：タッチパネルを有する機器の細菌汚染状況と清掃状況および汚染意識，日本衛生学雑誌，2015，第70巻3号，242-248

紅林佑介，大瀧純一：統合失調症患者における属性要因と認知機能の関連性～入院患者と入院歴のある外来患者についての調査～，精神医学57巻5号，341-348，査読付，2015

紅林佑介，原田祐輔，井上善久：精神科看護師の看護実践能力と職業性ストレスとの関連，日本保健福祉学会誌，22巻2号，査読付，in press，2016

田口豊恵，中森美季，林朱美，井村弥生：ICU入室中の患者のサーガディアンリズム調整に対する看護師の認識とせん妄予防を目的としたケアの実態 およびICUの物的環境に対する調査報告，クリティカルケア学会誌，VOL12，NO1，73-79，2016

学会発表

板東正己，井村弥生：ワークショップ 臨床に活かす表情看護 第25回日本精神保健看護学会，つくば市 2015. 5.

紅林佑介，大瀧純一：外来通院中の統合失調症患者における過去の入院期間と認知機能との関連，第111回日本精神神経学会学術総会，2015年6月，大阪

北得美佐子，新川さゆり：「旅立ち入浴」に参加した遺族の満足感とPHQ-9の関係，第20回日本緩和医療学会，2015. 6

栢木達浩，井村弥生：器械展開時における手術用手袋のピンホール発生状況 -腹腔鏡手術と開腹手術との比較-，第29回日本手術看護学術集会，2015. 6

井村弥生：看護大学生の実習期間内外での栄養摂取状況 -食物頻度調査と食習慣アンケート-，第41回日本看護研究学会学術集会，広島，2015， 8

Y, Kurebayashi, J Otaki. : The difference in factors influencing neurocognitive functions of schizophrenia

patients – a comparison between inpatients and outpatients –, 10th international nursing conference, Seoul, 22 Oct 2015

Y, Kurebayashi, J Otaki, M Takagi. Et al : A review of literature on nursing care for schizophrenia patients considering their neurocognitive functions. 10th international nursing conference, Seoul, 22 Oct 2015

岩井恵子, 吉村牧子, 東香代子, 石野レイ子, 井村弥生, 兒嶋章仁, 小林綾乃, 鹿島英子, 増田恵美: SP参加型看護教育システムの構築—SP養成からSPを中心とした看護教育の実践—, 第35回日本看護科学学会学術集会, 広島, 2015, 12

兒嶋章仁, 上松右二: ICUせん妄に対する評価スケール使用の実態調査—その使用感と有用性—, 第35回日本看護科学学会学術集会, 広島, 2015, 12

井村弥生: 看護大学生の実習期間前後での内臓脂肪値と栄養・食品摂取状況の比較, 第35回日本看護科学学会学術集会, 広島, 2015, 12

北得美佐子, 宇田賀津: 終末期看護論の講義における看護大学生の死生観および終末期患者に対する態度育成の効果の比較—第1報—, 第30回日本がん看護学会, 千葉, 2016.2

社会貢献

板東正己: 臨床看護における力動的精神療法アプローチ, 関西地区力動精神看護研究会 クレオ大阪 2015.4

紅林佑介: 第7回つながろう! 通信制保健室研修会ファシリテーター, 2015年8月1日~2日, 東京

北得美佐子: ELNEC-J (End-of-Life Nursing Education Consortium Japan) コアカリキュラム 看護師教育プログラム講師, 臨死期のケア, りんくう総合医療センター, 2015.8

北得美佐子: ELNEC-J (End-of-Life Nursing Education Consortium Japan) コアカリキュラム 看護師教育プログラム講師, 臨死期のケア, 大阪府看護協会ナーシングアート, 2015.9

北得美佐子: 帝塚山学院高等学校 出張講義, 看護師とは, 疾病の段階と看護理論, 2015.5

板東正己: 親子間の心の解離 (殺人事件から学ぶ) 関西地区力動精神看護研究会 クレオ京橋 2015.11.21

紅林佑介: 日本保健福祉学会誌, 査読者

D. その他

科研費および研究費助成採択による研究

紅林佑介: 統合失調症患者の認知機能と身体活動量の関連性の解明, 科学研究費 (研究活動スタート支援), 課題番号15H06762, 平成27年から平成28年

北得美佐子, 宇田賀津, 築田 誠, 丸上輝剛, 石野レイ子: 平成27~29年度科研研究補助費 挑戦的萌芽研究, 「がんを患う地域住民に向けたセルフマネジメント支援モデルの実証的研究」
課題番号15K15180

北得美佐子, 水雲 京, 石井京子, 森田達也, 宮下光令: 平成25~30年度, 日本ホスピス緩和ケア研究振興財団研究事業, 遺族によるホスピス・緩和ケアの評価に関する研究3 (J-HOPE3) 付帯研究「ホスピス・緩和ケア病棟の遺族ケアに関する研究」

井村弥生, 兒嶋章仁: 看護学生の術直後の患者の観察時における視線軌跡の傾向
—看護学生と看護師との比較—, 2017年度 日本看護学教育学会 研究助成,

紅林佑介: 入院中の統合失調症患者の活動量と認知機能との関連性, 平成27年度関西医療大学奨励研究